



(公社) 岐阜県理学療法士会 広報誌

<http://gifu-pt.jp/>

2019
No.131

らいちよう

飛騨支部公益事業

『第24回JAひだ農業まつり』

10月19日(土)
JAひだアグリパークにて



目次

巻頭言「第30回 岐阜県理学療法学会」……………	2	会員の声……………	8
各部・委員会からの報告……………	3	賛助広告……………	9
		賛助会員……………	11

第 30 回岐阜県理学療法学会

学会長 中 嶋 久 雄

この度、第 30 回岐阜県理学療法学会の学科長を務めることとなりました。令和初、節目の第 30 回目、オリンピックイヤーと記念すべき回となるため、光栄でもあるとともに大変な責任を感じております。開催は令和 2 年 2 月 16 日に刃物の町で知られる関市の中部学院大学にて行います。大学での開催は岐阜県理学療法士会としては初の試みで会場は広く設備も充実しています。また、高速のインターからも近く県内・外から多くの方が参加して頂ければと思っております。しかし、今回は演題数が思うように集まらず演題募集を延長することとなりました。その結果、数件のエントリーがあり大変助かっております。ご協力ありがとうございます。

さて、今回の学会テーマは「地域に繋げる輪～リハビリテーションの今後の展望～」といたしました。地域包括ケアシステムの一員として理学療法士が地域で活躍する機会は増えてきています。医療・介護・予防の分野で必要とされる職種と認められ、さらに活躍の場を広げていく必要があります。そんな中、岐阜県理学療法士の会員数は今年 3 月末の時点で千六百人を超えました。組織として大きく成長していますが、その大半は若い療法士が占めています。今後も地域、社会から求め続けるためにも質の向上が必要です。専門性を高めるためにもキャリアデザインについて考える時が来ています。キャリアデザインとは自分の職業人生を自らの手で主体的に構想・設計することで経験やスキル、性格、ライフスタイルなどを考慮したうえで将来像やそれに近づくプロセスを明確にすることです。最新の情報を収集し、知識・技術を高め、認定や専門の取得、その他の資格取得を目指し学び続ける必要があります。今回の特別講演には長崎大学の沖田実教授をお呼びして「新たな症候概念“運動器不活動症候群”のメカニズムと治療戦略」について御講演頂きます。新たな概念についての知識を得る機会として参考にしていただければと思います。

また、今回の学会から優秀演題を閉会式にて表彰することとなりました。そのため、優秀演題候補の発表のみを開会式の後、メイン会場にて行います。多くの方に聞いていただければと思います。演者の方には申し訳ありませんが閉会式まで帰らないようお願いいたします。

最後になりますが、学会が近づき準備委員一同、多くの方に今回の学会が日々の臨床に少しでも役立つことを願い運営しております。当日は寒い時期の開催となりますが多くの方にご参加をお待ちしております。



厚生部より

厚生部では会員の皆様の福利厚生で、ご結婚の際にカタログギフトを贈呈しています。

会員の結婚に伴うカタログギフト送付者(敬称略)
令和元年 8 月 1 日～令和元年 10 月 31 日

★豊田 愛香 (平野総合病院)

★岩井 恵子 (関中央病院)

ご結婚、おめでとうございます。

※結婚届を申請する場合は、連絡のとれる電話番号の記載をお願いしています。

何らかの確認でお電話を差し上げることがありますので、必ず連絡のとれる番号をご記入願います。058 - 276 - 7755 から番号通知しておかけします。ご協力をお願い致します。

厚生部では、下記の内容を実施しております。

- 1) 災害見舞金 会長の判断による。
- 2) 結婚のお祝い 会員の結婚に際しお祝いの品を贈る
(本人または他会員の申請による)
- 3) 弔電 会員の両親、配偶者、子供死亡の場合は弔電。
会員外は会長が認めた場合。
- 4) 供花 会員本人に不幸があった場合、供花を供える。
- 5) イベント助成 会員有志によるスポーツ大会・文化交流会などの助成。

上記以外にもご意見・要望、不明な点がございましたらご連絡ください。

連絡先

〒500 - 8288

岐阜県岐阜市中鶉 2 丁目 99 番地

TEL 058 - 276 - 7755 FAX 058 - 276 - 7733

介護老人保健施設 喜の里

名和 敏晃

研修部より

研修部では、県民公開講座と研修会の企画運営を担当しています。県民公開講座は、リハビリテーションに精通している県内の医師を招聘し、一般市民向けの講演を行っています。研修会の企画においては、運動器・内部障害・神経・生活支援など様々な領域の研修会を偏ることなく企画するよう心がけています。今後も皆様の臨床に役立つ研修会を企画していきたいと思っております。もし、聞きたいテーマや講師の要望がありましたら、研修部までご意見を頂ければ幸いです。今後とも、よろしくお願い致します。

部長

三川浩太郎（みかわ こうたろう）中部学院大学

部員

小森 麻以（こもり まい）多治見市民病院

学術誌出版部より

学術誌出版部です。学会などで発表された先生方を中心に論文にして頂けるよう呼びかけを行っております。もちろん、学会発表でなくても論文を投稿したいという場合でも受け付けております。今までは査読があるようではなかったため、ポイント付与されなかったこともあり、電子書籍化にすることができたことと、査読付き論文にすることができたことは大きな進歩だと思います。是非、会員の皆様におかれましては、12月には学術誌を出版しますので、奮って論文投稿をお願い致します。

部長

岩島 隆（いわしま たかし）岐阜保健大学

部員

随時募集中です！

生涯学習部より

生涯学習部といいます。活動内容は支部主催の研修会を生涯学習部主催に改め、士会員の自己研鑽と認定、専門領域の拡張を助力できるよう立ち上げられた部会です。会員の先生方の要望される領域の研修会開催を目指していく予定です。実働は2020年からとなりますが、試行段階も含め本年度より活動開始となりました。

部長

小久保 晃（こくぼ あきら）岐阜保健大学

部員

山藤 優弥（やまとう ゆうや）中濃厚生病院

浅井 智也（あさい ともや）多治見市民病院

古田 裕之（ふるた ひろゆき）高山赤十字病院

片桐 由浩（かたぎり よしひろ）美濃市立美濃病院

小出 紘靖（こいで ひろやす）大垣徳洲会病院

渡邊 翼（わたなべ つばさ）

岐阜大学医学部附属病院

村木 佑麻（むらき ゆま）山内ホスピタル

今後も順次増員予定です。部員募集中。

学会運営部より

2020年2月16日 中部学院大学にて第30回岐阜県理学療法学会を開催します。令和最初の県学会であり、会場もこれまでと違い大学を使用させていただくということで設備も整っています。特別講演は長崎大学の沖田実教授をお招きします。学会運営に向け準備委員は関中央病院より6名、中濃厚生病院、美濃病院、中部学院大学より各1名の合計9名のメンバーで活動しております。多くのご参加をお待ちしております。

学会長（部長）

中嶋 久雄（なかしま ひさお）関中央病院

部員

武市 陽介（たけいち ようすけ）関中央病院

村瀬あかり（むらせ あかり）関中央病院

松井 健次（まつい けんじ）関中央病院

大澤 巧（おおさわ たくみ）関中央病院

西部 美晴（にしづ みはる）関中央病院

三川浩太郎（みかわ こうたろう）中部学院大学

片桐 由浩（かたぎり よしひろ）美濃市立美濃病院

下本 直樹（しももと なおき）中濃厚生病院

岐阜県理学療法士会 IT部からのお知らせ

岐阜県理学療法士会ホームページ内の会員ページに「会員図書館」を開設しました。

会員図書館には、岐阜県理学療法学会誌を第14回（2003年度）から第29回（2018年度）まで、岐阜県理学療法学会誌を第8号（2001年度）から第23号（2018年度）までを掲載しております。会員の皆様にお役に立てればと思います。

会員図書館には、岐阜県理学療法士会会員ページのログインが必要です。

岐阜県理学療法士会のホームページアドレスは、

<https://gifu-pt.jp/>

もしくは、岐阜 p t で検索して下さい。

IT部 寺倉篤司



ぎふシニアドライビングスクール 活動報告

5/20（月）岐阜ダイハツ販売株式会社主催のぎふシニアドライビングスクール（会場：マジオドライビングスクール大垣）が開催され、①高齢者による事故や特性について、②実車を使った安全運転講習、③スマートアシスト体験、④体力測定と運転前体操、認知症予防体操などが行われました。岐阜県理学療法士会メディカルサポート部として、体力測定、運転に関わる運動指導、認知機能維持の運動指導などの協力をさせていただきました。

参加者は18人（男性11人、女性7人、平均年齢72.1歳）で、半数以上（61%）が地域のイベントに初参加で、89%がまた参加したいと回答をいただきました。自分の体力年齢の結果に一喜一憂し、免許返納について悩まれている方も何人かみえました。今後も、岐阜県内の岐阜ダイハツ販売店で開催していく予定です。

（メディカルサポート部 篠原航平）



福祉機器展部活動報告ならびに 県士会事業 参加への想い

報告が遅くなってしまいましたが、令和元年6月1日、2日、「岐阜こども療育用具・福祉機器展2019」が多治見市セラミックパークMINOで開催されました。今年で10年目という節目の年を迎え、県士会支部による運営という初の試みが為されています。マニュアルを整備し、事前会議をおこない、東濃支部の皆さんが中心となって運営して下さいました。マニュアルだけでは不十分な業務内容もあり、また例年実働していた私が統括という仕事に不慣れな中、東濃支部の皆さんの業務負担は非常に重いものでしたが、コツコツと業務を重ねて形にさせていただき感謝致します。当日は福祉機器展部からもスタッフ動員して準備・運営・片付けに入り、各支部のご協力もいただきながら1日半の展示会を終えました。来場者数は728名、一つの達成感を共有しつつも課題も多くみえた初の試みでした。



現状として県士会の活動へ参加する人は限られており、人員が不足する場面が少なくないように感じます。私個人としては、県士会の業務は軽々にお願いしづらい、まして強制はできない、という中でスタッフの人数を揃えるだけでも一苦労という状態を改めて感じています。以下に、場違いと重々承知のうえで、役員を長く務めさせていただいた経験から、県士会に興味を持ってほしい！という想いを少し文章にさせていただきました。

理学療法士の仕事は、人への関心を持つことや想像力が役立ちます。他職種の事情を知ること、連携すること、患者さんの生活を知ること、苦痛を知ること、リスク管理をすること、関心や想像力が必要な場面は挙げたらキリがありません。この毎日の自分の仕事に、福祉機器展に携わっていることは間違



いなく役立っていると今、感じています。企業の事情、来場者の希望、自分たちの都合、多くのことに対し想像力を絞り出しながらバランスを取って運営してきたことは、様々な価値観や立場に対する想像や礼節の大切さ、ゆずれないもの、自分の正義だけでは物事は進まないこと、自ら動く大切さ、分かち合う喜びを実感させてくれました。自分を遅くしてくれました。

また、県内だけでも色々な理学療法士がいて、キャラが濃かったり、稀な経験を持っていたり、修羅場をくぐっていたり・・・近しい友人に話せないことが、意外と同じ職業というだけの遠い仲間に相談できるかもしれません。力がもらえるかもしれません。尊敬できる人に会うかもしれない。反面教師に出会うかもしれない。県士会の活動に参加することで形あるものは得られないかもしれませんが、いつか役立つもの、何かに繋がっていくものが得られます。一つの縁、そこにしかない縁、大切な機会は多くはありません。私の今は、県士会も含め様々な縁を逃さず大切にしてきたからあるのだと思います。県士会の活動に触れる機会がありましたら、その縁を大切にいただければ嬉しいです。

硬い文章になってしまいましたが、せっかく医療職になれたので、レッツ社会貢献！エンジョイ社会貢献！
長文でしたが最後までご高覧いただきありがとうございました。福祉機器展部 広田 晋

肺年齢チェック！レポート (メディカルサポート部)

令和元年8月4日(日)に行われたROCK FILL JAM制作委員会主催ROCK FILL JAM「肺年齢チェック！」について活動報告させていただきます。

今回は可児市文化創造センター ala にて、岐阜呼吸循環代謝リハビリテーション研究会が中心となってROCK FILL JAM制作委員会主催ROCK FILL JAMのエキシビジョンとして参加させていただきました。



今回は「肺年齢チェック！」ということで、呼吸機能検査を実施し、肺年齢を経験してもらい、結果説明時に結果の詳細だけでなく COPD や理学療法士についての啓発活動を実施してきました。全てのイベント会場は屋内であり、快適に過ごす事が出来ました。また、岐阜県理学療法士会の旗や肺年齢について簡単に説明をしたイベントパネルを設置し



た事でイベント内でも参加者によく周知することができました。その結果、今回初めての試みだったにも関わらず62名と多くの方に参加していただきました。

FES会場でのイベントということもあり、30代から40代の方々の参加が中心になりましたが、20代から70代まで様々な年齢層の方々に肺年齢を経験していただきました。男性喫煙者に対しては、自身の結果をもとに禁煙の重要性について具体的にパンフレットをもとに説明しました。また、肺活量の低下傾向にある方々には、問診すると運動が不足していることが多く、胸郭ストレッチや深呼吸、運動習慣の重要性についてアドバイスをを行いました。さらに、60代や70代の高齢者は喘息などの呼吸器疾患を持つ方や、長期喫煙暴露者は閉塞性換気障害と判定される方が数名おり、より具体的な健康指導や運動指導についてアドバイスをを行い、パンフレットを配布するなどして有意義な内容になるように努めました。



一日を通してのイベントでしたが時間の経過が短く感じるほど充実したイベントとなり、普段接する機会が少ない地域住民の方々と交流できたことは我々、理学療法士にとっても非常に有意義な経験となりました。

今回の貴重な機会を頂きましたROCK FILL JAM制作委員会の実行委員の皆様から心から感謝申し上げますとともに、今後も理学療法士による社会貢献を通して、理学療法士の啓発や疾患の予防・早期発見、さらには健康増進に寄与できるよう努めてまいります。

メディカルサポート部
中部学院大学 西中川 剛

< 会 員 の 声 >

理学療法士になって

いけだ整形外科リウマチクリニック
林 亜依里

私は一度国家試験が残念な結果に終わってしまい、1年間現在勤めている職場でアルバイトをさせていたでいていました。その1年間で受験勉強を続けていたため大変な毎日でした。国家試験に合格した大学の同期たちは『毎日大変だけど楽しい』と言って仕事の話をしていました。憧れと同時に『なんで私だけアルバイトと勉強をする生活をしているのだろう。』『なんで今までもっとがんばれなかったのだろう。』と思うようになり、いっそのこと辞めてしまおうと思うことも多々ありました。アルバイトを続けていく中で親しくなった患者様が何人かでき、よくこう言われるようになりました。『早く理学療法士になってね。』『理学療法士になったらリハビリをしてね。』このままあきらめたくない、そう思った私は国家試験の勉強を再度頑張る気持ちが強まりました。それから1年間、友人と一緒に勉強に励み、無事理学療法士になることができました。毎日患者様のリハビリが出来ていることにすごく喜びを感じます。仕事内容が多く、知識も足りないと感じていますが、1日でも多く患者様と関わりをもち、よりよい日常生活が送れるようにがんばりたいと思います。

特に私は高齢者の方の日常生活が自立できる様にサポートしていきたいと考えています。現代、核家族と言われており、独居で暮らしている方も多くみられています。私の住んでいる地域周辺でも独居で住んでいる方が多く、一人でリハビリにいられている方もいます。この先、高齢者の方が増え続けていくなかで私も何か力になりたいと考えていました。

先日、中津川で行われた新人教育プログラムに参加させていただいた時に『高齢者ドライバーに対する体操』などのセミナーを岐阜県理学療法士会で活動している理学療法士の先生がいらっしやることを知りました。世間では高齢ドライバーによる危険運転や交通事故のニュースが多く取り上げられています。私の住んでいる地域は電車がなく、バスも1時間に1本通るだけで車を使わないと生活が出来ない場所です。そういうときにこのような活動があるなら私も時間がある限り参加していきたいと思っています。

理学療法士に出来ることはまだまだたくさんあると思います。今後たくさんの方の研修会に参加し、多くの知識を身につけみんなの力になれるような存在になれるようこれからも私は働いていきたいと思っています。

「子育て」を通して思うこと

介護老人保健施設 城山
鷲塚 繁美

今年の夏は例年になく暑い日が続き、子供を外で遊ばせるにも気を遣う日々でした。現在、育児休暇をいただき2人の子育てに専念する中いろいろ思うことがありました。

自分の幼い頃は5人家族の一人っ子で、実家は乳牛の飼育を家族でやっていましたが、父が病気になり、貸倉庫業に仕事が変わりました。何れも自営業で、自分が保育園・学校に行くにも、体調を崩すなどしても、家族が傍にいてもらえる環境にありました。母も専業主婦だったので身近で親の姿を見て育ち、他人に迷惑をかけないようにや、思いやりを持って人に接するようになど基本的なことを日々躰けられ育ちました。また、近所には顔見知りの叔母さん、叔父さんや同級生も多く、地域行事にはよく参加した記憶があります。

現在、自分がわが子を育てる身になり、親がしてくれてくれたことをどれだけでできているか、どう子供と向き合っていけばいいのか、社会的なことをうまくやっていけるのか、また躰けられるか心配が増えるばかりです。子供がいることでももちろん良いこともあり、新たな体験をする機会が得られたり、新しい知識が増えたり、近所の方のお世話にもなって救われたり、楽しんだりすることもあります。しかし自分の未熟さ故、かえって自己管理ができず、滞ってしまうこと、行き届かないことがあり子供の見本とは言い難い時もあります。子育ては自分育てとよく耳にしますが、子供に対して要求するばかりで、自分の姿を改善しなければ何もならないのではと反省しています。

乳幼児学級などに通いながら先輩お母さん方の話を聞いたり、見たりする機会もあり、うまく活かしていかななくてはと思っています。自分が学んで得た知識や経験などを家族で共有しながら、また話し合いながら今の状況にあった形で社会に調和できるようにしていけたらと思っています。

子育て支援が手厚く充実している今の時代ですが、逆に情報があふれすぎており、何をどう選択していいものか迷うことも多くあります。そんな中、自分の殻にこもり、なかなか伝えられなかったり、必要なことができないことに歯がゆさを感じています。

子供達が大人になっていく上で社会的にも恥じない、将来に大きな夢を持って生きていけるよう、まずは自分自身が社会づくりに貢献し、また子供達にはコミュニケーションの大切さを学んでいってもらえたらと思っています。

今後、仕事復帰に向けて生活を見直しながら、今の時間を大事に子供と共に成長をして、仕事に対しても一社会人として今まで以上に社会貢献できるようにしていきたいと思っています。

R 1 賛 助 会 員

会 社 名 ・ 施 設 名	電 話 番 号
有限会社 加納ビジネス 〒 500-8456 岐阜県岐阜市加納大黒町 2 - 32	TEL 058-273-3007 (代)
有限会社 中部義肢 〒 486-0911 愛知県春日井市西高山町 3 丁目 16 - 12	TEL 0568-34-7143
岐阜保健大学 〒 500-8281 岐阜県岐阜市東鶯 2 丁目 92 番地	TEL 058-274-5001
東名ブレース株式会社 〒 489-0979 愛知県瀬戸市坊金町 271	TEL 0561-85-7355
株式会社 松本義肢製作所 〒 485-0805 愛知県小牧市大字林 210 - 3	TEL 0568-47-1701
学校法人誠広学園 平成医療短期大学 〒 501-1131 岐阜県岐阜市黒野 180	TEL 058-234-3324
中部学院大学 〒 501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘 2 丁目 1 番地	TEL 0575-24-2211
株式会社 ケア 〒 502-0848 岐阜県岐阜市早田本町 1 丁目 9 番地	TEL 058-233-7981
株式会社 大塚製薬工場 〒 500-8856 岐阜県岐阜市橋本町 2-20 濃飛ビル 9 階	TEL 058-227-3811

編集後記

らいちょう 131 号作成に当たり、巻頭文・会員の声の原稿依頼を快諾して、ご協力下さいました、中嶋久雄氏、林亜依里氏、鷲塚繁美氏に感謝致します。
この場を借りて、お礼申し上げます。

少しずつ寒くなり、冬が近づいていることを感じさせられる日が多くなってきました。そんな寒い日がある中で、10 月にはラグビー W 杯があり日本中が熱狂に包まれました。そんな中でもこの W 杯開催期間で、ラグビーのルールはあまり知らないというような「にわかファン」が増えました。メディアでは良い意味で紹介されていましたが、この「にわか」には、かりそめであること、一時的にという意味が含まれています。私も含め、にわかファンになった方もいるのではないのでしょうか？

さて、話は変わりますが私が理学療法士として働き始め気付けば半年以上が過ぎていました。臨床の場で戸惑うことも多く、未熟な部分があると感じる事も多くありますが、決して「にわか」理学療法士にはならないよう精進していきたいと思えます。(S)

公告掲載のご案内

士会ニュース公告掲載のお問い合わせ・申し込みにつきましては
広報部までお願いいたします。

広報部

〒503-2417 揖斐郡池田町本郷 1551-1

医療法人社団橘会 新生病院

リハビリテーション科 伊藤康行

TEL.0585-45-3161 FAX.0585-45-3255

E-mail : shinsei4@octn.jp

2019. 11. 20

発行人：公益社団法人 岐阜県理学療法士会

会長 舟木 一夫

事務局：〒500-8384 岐阜市藪田南1丁目11番12号

岐阜水産会館 4B-4 号室

TEL・FAX (058) 277 - 6166

編集：伊藤康行

印刷所：(有)いすくら